

ハイドロモルタルE X
標準施工要領書

日本ジッコウ株式会社

ハイドロモルタルEX 標準施工要領書

1. 使用材料

- ・ハイドロモルタルEX

2. 施工仕様

工 程	使 用 材 料	塗布量 (kg/m ²)	塗布方法
下地処理	型枠目違い、突起物、及び被塗面に付着している異物などは入念に除去する。セパ、打継部、クラック、漏水は処理する。		
一層目	ハイドロモルタルEX	0.5	コテ又は刷毛
二層目	ハイドロモルタルEX	0.5	コテ又は刷毛

※吹付の場合は1.0～1.5kg/m²で1回塗り。

3. 施工要領

3-1 下地処理

- イ. 木コン、打継部、クラック、漏水の処理
- ロ. 型枠目違い、突起物、汚れ、レイトランスなどは、ディスクサンダー、ワイヤーブラシ、ケレン棒などで入念に除去する。

3-2 清 掃

エアブロー、硬質刷毛などを用いて粉塵を除去する。
(場合によっては水洗を行う。)

3-3 使用材料の調整

ハイドロモルタルEX

樹脂液（基剤1.5kg、硬化剤4.5kg）を混合し、充分攪拌した後、ハンドミキサーを回しながらパウダー12kgを加え3分間以上全体が均一になるまで練り混ぜる。（練り混ぜ容器は、容量が20L以上のものを使用する）

3-4 一層目 (ハイδροモルタルEX)

下地処理後、ハイδροモルタルEX 0.5 kg/m² を、左官刷毛、コテなどを用いて均一に塗布する。塗布面に水たまりや水滴がある場合は、予めウエス等で除去した後施工を行う。なお塗布面が乾燥し、下地への吸水が多い場合は噴霧器等で下地を湿らせると作業がしやすくなるが、浮き水等がないよう注意すること。

3-5 二層目 (ハイδροモルタルEX)

一層目塗布後、硬化状態及び表面状態を確認し異常がなければハイδροモルタルEX 0.5 kg/m² を、左官刷毛、コテなどを用いて均一に塗布する。

4. 養生

特別な養生は必要ないが、接水面に使用する場合は3日間(20℃)以上の放置養生が効果的である。

初期硬化4時間(20℃)までに降雨した場合は施工面が損傷を受けますので注意すること。